

1 本年度の重点教育目標

すすんで考え、自ら行動する子どもの育成 ～人とのかかわりを通して～
えがおが あふれる学校づくり

【椴法華中学校区・地域でめざす児童生徒の姿】
「将来の目標をもち 自己肯定感をもって 主体的に学習し生活する児童生徒」

2 本年度の取組の重点

- ① 学級経営の充実
- ② 学習指導の充実・授業改善
- ③ 特別支援教育の推進
- ④ 学校の安全確保と教育環境の整備
- ⑤ 家庭・地域社会との連携・協働
- ⑥ 教育公務員としての自覚と誇り
- ⑦ 働き方改革の推進

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

項目番号	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
①	【学級経営の充実】 ○全教職員による柔軟な協力体制を工夫しつつ、各教師が持ち味や専門性を発揮して、より質の高い教育活動を行うことができたか。	a	1～4年生の図工、音楽、5年生の体育を、学級担任以外の教員が指導し、より質の高い教育活動を行うことができた。来年度も同様の協力体制で行う。	A	A	
②	【学習指導の充実・授業改善】 ○教師相互が磨き高め合い、子どもの学ぶ意欲を高めるとともに、指導法の工夫や授業改善を進めることができたか。	a	クロムブックの導入後、ICTを活用した指導の工夫・改善を図り、授業改善を進めることができた。来年度は、児童のICT活用能力育成の全体計画を作成し、教育課程に位置付けた計画的な育成を行う。	A	A	コロナ禍でも工夫して、児童生徒の体力向上や体を動かす機会を増やしてほしい。
③	【特別支援教育の推進】 ○一人一人の教育的ニーズを把握し、情報共有をしながら、子どもに寄り添う指導を行うことができたか。	a	今年度同様、児童一人一人の状況を的確に把握し、個に応じた指導の充実に努める。	A	A	
④	【学校の安全確保と教育環境の整備】 ○未然に事故を防ぐため、施設点検や安全指導の徹底を図ることができたか。 ○教育の場としてふさわしい環境整備を進めることができたか。	a	今年度同様、施設点検や安全指導の徹底を図り、事故の未然防止に努める。 今年度同様、感染予防を徹底するとともに、感染予防に対する児童の意識向上を図る。	A	A	
⑤	【家庭・地域社会との連携・協働】 ○共通の目標をもち、よりよい信頼関係を保ちつつ、連携・協働を強化することができたか。 ○学校運営協議会の充実を図ることができたか。	b	コロナ禍で活動が制限される中、できる範囲での連携・協力となった。来年度も状況に応じて、工夫・改善を図る。	A	B	地域と学校の関係が、コロナ禍でより一層疎遠になってきたと感じる。
⑥	【教育公務員としての自覚と誇り】 ○人間尊重の精神に基づいた教職員集団となり、サービスの厳正に努めることができたか。	a	教職員一人一人が、公務員としての自覚を持って、取り組むことができた。今年度同様、サービスの厳正に努める。	A	A	
⑦	【働き方改革の推進】 ○私たちの働き方を見直すことを、子どもたちの笑顔に繋げることができたか。	a	業務改善や時間外勤務の縮減に努め、概ね達成することができた。来年度も継続して働き方改革を推進する。	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。